

# こうのとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会  
第10号(22) 平成29年8月31日発行  
(発行部数 400部)  
発行責任者 岸本 喜代子  
編集責任者 谷川 裕子  
神戸市中央区下山手通5丁目8-14  
山手グヤハツ305号  
TEL: 078-362-1310  
(月～金) 10:00～16:00  
FAX: 078-362-2737 (24時間)  
Email: info@hyogo-josanshikai.com  
HP: http://hyogo-josanshikai.com/

## 前進する一般社団法人としての兵庫県助産師会

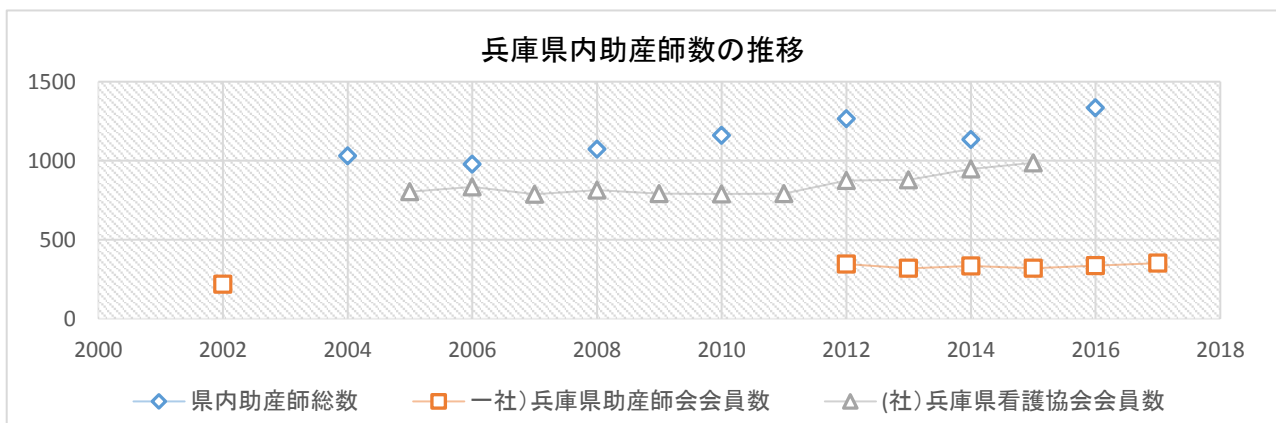
副会長 鈴木 江三子

本会の前身である兵庫県産婆会は、1927(昭和2)年の大日本産婆会の設立を受けて、1932(昭和7)年に設立されました。その後、終戦を迎えて保健婦助産婦看護婦法の交付により、1947(昭和22)年には兵庫県助産婦会と改称し、日本助産婦看護婦保健婦協会兵庫県支部が発足しました。1955(昭和30)年には日本看護協会から、より専門性の高い専門職能団体として日本助産婦会が脱退し、それに伴い日本助産婦会兵庫県支部として結成しました。そして、2012(平成24)年には、より一層の母子保健の専門家として社会の期待と要請に応えるべく、一般社団法人兵庫県助産師会としてその形を変えてきました。

一般社団法人とは、法律によって権利能力を認められた団体であり、法人格をもつことにより団体の名前で契約を結んだり、登記を行ったりという法律上の行為を行なうことができます。また、営利を目的としない非営利法人ですが、社会貢献をする団体として様々な事業を継続的に管理・運営することも必要になってきます。すなわち、兵庫県産婆会の設立以降、約80年の年月を経て、現代社会のニーズにあった成熟した専門職能団体として、その体裁を整える努力をしてきました。

そのため法人法に則った定款や諸規則は司法書士の指導を受け、会費や補助金の運用・管理は税理士、会計士の諸先生方の指導を受けて透明性を担保しています。くわえて、法人法に則った理事会の運営を遵守するため、全国法人協会に加盟し、同協会が推奨する弁護士への相談も利便性の高いものにしてきました。

そして、2017年7月現在、本会員数は340人であり、兵庫県全体の助産師総数1,334人のうち約25%が本会に加入し、多種多様な研修や事業を展開しています。すなわち、母子保健を担う専門職能団体として、社会に貢献すべく日々前進し続けているのが諸先輩方から受け継いだ一般社団法人兵庫県助産師会の姿だといえます。これからも皆様とご一緒に、本会を発展させていければと思っています。



注) 一社) 兵庫県助産師会会員数は兵庫県助産師会 70 周年記念誌、兵庫県助産師会 80 周年記念誌、及び登録者数データより、(社)兵庫県看護協会会員数は [https://www.hna.or.jp/outline/info\\_disclosure/membership\\_breakdown/](https://www.hna.or.jp/outline/info_disclosure/membership_breakdown/)(2017. 7.11)を基に作成。

# 平成29年度 定時社員総会

平成 29 年 5 月 14 日 (土) 平成 29 年度 一般社団法人兵庫県助産師会 定時社員総会が兵庫県学校厚生会館にて開催されました。

開会式の後、神戸女子大学看護学部教授の玉木敦子先生をお招きし「周産期のメンタルヘルス 助産師に期待すること」の講演会が行われました。その後、昼食（巻き寿司）を食べながら、和やかに3部会集会が開かれました。午後には定時社員総会が開催され、平成 28 年度の事業報告と平成 29 年度事業計画案の審議が行われ、可決されました。



玉木敦子氏の講演



助産所部会集会



保健指導部会集会



勤務助産師部会集会



総会の様子

## 部会だより

### 〈助産所部会〉

助産所部会長 加須屋 淳江

会員の皆様、助産所部会の皆様、こんにちは。日々のお仕事本当に有難うございます。

前年度大過なく生命の誕生を迎えられたこと有り難く思っています。包括的指示を受け、昨年度9月より聴覚検査が助産所出産の赤ちゃんにも実施できるようになりました。県より検査費用公費負担の動きがあります。本年度100%実施を目指し引き続き取り組んでゆきたいと思えます。まもなく平成29年度助産所安全評価も始まります。更なる安全、安楽そして楽しい妊娠、出産、育児へと繋がるよう宜しくお願い申し上げます。

産後ケア事業も神戸市を先頭に各地で進められてきております。各々の根ざす地域からの推進を引き続き宜しくお願い致します。医療事故調査制度も始まり、様々な角度からの支援が広がってきております。毎日大切に心をこめたケアをすることで広くより良い母子支援に繋がりますように。又、幼児期、思春期から助産師が担う役割は沢山あります。どうか一致団結して全力で母子ケアにむかえますよう心をおよせください。今の位置から何ができるのか何をすべきなのか。考え動き出す時と思えます。最近少子高齢化に風穴を開ける発想に出会いました。至らぬ点も多々ありますがどうか今後の会の活動にも引き続きご協力くださいますより良い未来をつくりだせませう宜しくお願い致します。

## 会員紹介

徳重 朋子

助産師学校を修了し、病院で8年半、毛利助産所で勤務して3年目になります。

妊娠・出産・育児を支えていく助産師の技や知恵を学びたくて助産所に来ました。その学びのなかで、自分自身の生活について考え、丁寧に過ごすことを意識するようになりました。食事の質を考えたり、体を動かしたりいたわったりすることで起こる変化を感じるようにすると、自分の体が変わり快適に過ごせるようになりました。体が元気になると気持ちも晴々とするのか、不思議と、これまでと違った角度で物事を見ることができるようになったり、違う感覚が湧いてきたりするようになりました。自分と向き合い過ごすことがもたらす、体と心の変化を体感しました。助産師の技と知恵の土台には、丁寧な生き方と、それを通じた考え方や心の持ちようがあり、人間力があると感じました。

最近ようやく気持ちにも少しだけ余裕が生まれてきました。一進一退の日々ですが、助産所での出会いや経験はとても貴重で、日々が充実しています。今後も感じることに丁寧に向き合いながら、自分らしい助産師を目指して、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



毛利助産所の助産師の皆さん  
上段左端が徳重さん

## 〈保健指導部会〉

保健指導部会長 坂田 富貴子

昨年の会員活動調査を基に今年度の事業計画をたてスタートしました。メーリングリストを活用して、情報提供と共有を行い、年3回の部会集会と部会内研修会などで、できるだけ顔の見える関係を築ければと思います。

現在、部会員は98名、助産所開設者は55名です。産後ケア・産後ケア事業の充実や地域で自立して活動するために、必要な態度・知識・技術を学ぶ目的で『保健指導部会が果たす役割』を10月に、部会員の事例をもとに問題解決を養うために『事例の検討』を2月に計画しています。

また、安全なケアを推進していくために、助産所開設者には損害賠償保険加入の必要性を周知し、よりよいケアにつなげるためには、「母乳育児支援に関する安全評価」を全員に提出していただくように周知していきたいと思います。

### 会員紹介

頓田 眞子

この度、6月2日、公)日本助産師会90周年記念式典に宮家の秋篠宮妃紀子様のご臨席の前で優良助産師として厚生労働大臣賞を受賞することができ、大変ありがたく光栄に思っています。常に新しい情報を妊産褥婦・赤ちゃんへ届けたいと思い続けた結果かと思えます。



私は、平成14年赤穂市民病院を退職してすぐに関業し、新生児訪問、養育支援、1才児迄の母親への支援(お日さまクラブ)を今も続けています。新生児訪問も初めの頃は実家に里帰り分娩し祖母が母親の身の回りを全てして、母親は赤ちゃんの世話のみで安心して育児が出来ていた人が多かったが、最近は実家に里帰りしても祖母は働いている人が多く、母親と赤ちゃんの二人きりになる事が多くなりました。保健指導も一人一人に合った指導が必要で、細かく一から十まで説明しないと理解してもらえないことがあり、保健指導の大切さ・むずかしさを感じています。

開業当時より事業としてベビーオイルマッサージを実施し、依頼があれば各地区に出向きベビーオイルマッサージと育児相談を行っています。

市から子育て応援隊として命をもらい、健診の待ち時間を利用して親子のふれあいの大切さを伝えその他の相談にのっており、健診に来なかった人には家庭訪問をして赤ちゃんの様子や健診の大切さを話しています。

長く仕事が続けられたことは楽しい反面、年を取ることによってしんどさも増えてきます。早く次の世代にバトンを渡したいと思っています。若い人の中に入り何回も聞いた研修でも受けていると、何か一つは新しいことを教えていただくので、助産師を続けているうちは自己研鑽のために受けようと思っています。

## 〈勤務助産師部会〉

勤務助産師部会委員 有本 梨花

今年度の活動として、メーリングリストの登録の推進によるネットワークの構築とメールによる情報配信、研修会の開催を計画しています。

メーリングリストに登録して頂いた勤務助産師部会の会員の皆様に、各種団体からの情報提供や研修会の案内をいち早くお届けすることと、メーリングリストの活用で災害時のネットワークづくりにもつながればと考えています。まだ登録されていない会員の方が多数おられますので、登録していただき、有益な情報を得ていただきたいと思います。

研修会は、丹波の森公苑で平成 29 年 5 月 28 日（日）に毛利助産所の毛利多恵子先生を講師に迎え、「プロフェッショナル助産師のわざ：分娩経過中の産婦へのアセスメント」のテーマで開催しました。臨床現場でよく遭遇する症例について他施設の助産師達と事例検討を行い、助産師のケアについて意見交換をしました。この研修会は 11 月 2 日（木）にも神戸でも開催いたしますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

また、9 月 3 日（日）には、院内研究や学会発表等の支援として「もう怖くない！伝わる！プレゼンテーションの作り方 10 のルール」を開催いたします。この研修会の同日午後と翌年 2 月には、個別相談会も設けます。日頃、院内研究で困っていること等がありましたら、ぜひご参加ください。



5 月 28 日の研修会の様子

### 会員紹介

細川 由美子

私は、これまで保健指導部会に在籍しておりましたが、昨年度から勤務助産師部会に異動しました。勤務助産師部会の会員は兵庫県助産師会の中で会員数が最も多いものの、医療機関に勤務している助産師がそのほとんどで、会員一同が同時に介してお話する機会は残念ながら難しい現状にあります。しかし、研修などを通して、勤務助産師部会会員の方の、日々悩みながら精進し母子を中心にしたより良い助産ケアを実践したいという熱い思いに触れ、働く機関は違っても同じ助産師としてとても励みになります。日々出会う妊産褥婦への助産ケアについての迷いや疑問など、小さなことから大きなことまで、働く場所を超えて共有し合い、話し合う場、学び合う場の機会が増え、より充実することが大切だと思います。助産ケアは、入院中の医療機関でのケアだけに留まらず、長期的な視点で日常生活をしている母子に対して、必要な時にいつでも助産ケアが受けられることが重要だと思っています。私は勤務助産師部会に異動しても、保健指導部会在籍時と同様に子育て支援事業に参加しています。このように部会にこだわらず、勤務状況に合わせて流動的に地域での助産活動ができるといった助産師会の強みを生かした研修や、様々な事業への参加が一層スムーズに行えることを希望します。



## 委員会だより

### 〈教育委員会〉

委員長 谷口 真紀

今年度は「助産師のちからアップ」研修の内容をリニューアルし、一定の研修を受講した方が助産所研修に参加できるように企画しています。また「新生児蘇生法講習会」として継続研修の必要性を考え、継続研修の開催を増やしました。今年度も、助産師の質の向上を目的として、その分野に精通している講師や兵庫県で活躍されている先輩助産師をお迎えしておりますので、皆様に満足していただける内容を企画しております。

今年度も研修補助券を発行させていただきました。おひとりでも多くの方の受講をお待ちしております。

また、教育委員会の活動に興味、関心のある方は是非とも一緒に研修企画、運営にご協力いただきたいと思っていますので、ご連絡をお待ちしております。

研修補助券  
ご活用下さい！

### 〈産後ケア事業推進委員会〉

委員長 稲生 佐枝子

兵庫県内の自治体では産後ケア事業が少しずつ普及してきています。各自治体では、それぞれの地域の特性を踏まえて実施されているようです。しかし、方法を模索中の自治体も多く、今年3月3日に開催した研修会「兵庫の産後ケア事業～今話題の産後ケアって何？～」に自治体の保健師さんもたくさんご参加いただきました。研修会の発表でもあったように、産後ケアを利用した方からは、よい評価を受けています。しかし、利用するにあたり、費用や条件など課題があります。また、「産後ケア」について知られていないこともあり、産院を退院後に不安を抱えたままの育児や、サポートがなく無理な生活をされている方もおられます。勤務助産師の会員の皆様には、退院時不安そうなお母さんには、産後ケアのご紹介をしていただきたいと思います。産後の母親が順調に育児できるように、母子に関わるすべての人達と連携して、支援していきたいと思えます。

### 〈定款規程検討委員会〉

担当理事 小坂 素子

定款規程検討委員会では、委員会規程の見直しをおこないました。その際には、委員会の皆様や司法書士の方のご意見も頂戴しました。委員会の皆様にはご協力いただきありがとうございます。委員会規程は、今後ホームページに掲載する予定です。尚、ホームページには、〔定款〕〔役員選挙管理規程〕〔社員総会規程〕〔会費規程〕を掲載していますので、ご覧ください。

調査へのご協力を  
お願いします！

## 〈福祉厚生委員会〉

委員長 秋山 敦子

今年度、健康診断受診状況を促進するために、助産所部会・保健指導部会の方には、同封しています健康診断受診調査票をご覧ください、9月15日までに同封の返信用封筒でご返送いただきますようお願い致します。結果につきましては、次回のこのとり通信に掲載いたします。

損害賠償責任保険に未加入の方は、安心して助産師活動ができますようご加入をお願い致します。

会員の皆様が安心して一社)兵庫県助産師会の事業に参画していただけるようにと、事業活動中の傷害補償として昨年より普通傷害保険に加入しました。保険加入当初の予測よりはるかに多くの方に活動していただき、有難うございました。

### 災害対策委員会より 会員の防災訓練（安否確認）のお知らせ

今年も防災訓練（安否確認）を行います。平時の訓練が非常時に効果を発揮します。皆様ご協力お願いします。

日程：平成30年2月6日（火）（予定）

\*今年度の方法については、後日HPや各部会よりご連絡いたします。

## 〈兵庫県子育て・女性健康支援センター運営委員会〉

委員長 國廣 晴美

子育て・女性健康支援センターでは、昨年に引き続き相談事業を中心とした8事業を運営しています。各事業の利用者数は増加傾向にあり、センターの事業が地域の皆様に徐々に浸透し定着してきているためと思われます。

この事業は、部会や地域を超えた活動となるため、普段の活動の場とは違う人との出会いや経験の機会になります。今年度からは事業担当者へ委嘱状を発行し、43名が従事しています。

今年度も担当者のスキルアップと交流を目的として、年間3回の「子育て・女性健康支援センター従事者会議」を開催します。第1回の会議（6月開催）では、19名の方が参加され、思いがけない妊娠SOSに関する内容の伝達講習会及び事業担当者間の意見交換を行いました。次回は11月と3月に予定しています。

現在、センター事業従事者の募集を行っています。各事業への見学や参加をご希望の方は、同封しております人材登録票へご記入いただき助産師会事務所へFAX又はメールでご連絡下さい。皆様からのご連絡をお待ちしています。

お母さんと赤ちゃんのふれあい広場の様子



6月は15組のお母さんと赤ちゃんが参加されました。

第1回子育て・女性健康支援センター従事者会議（6月15日開催）



参加者間での活発な意見交換の機会となりました。



# 平成29年度公益社団法人日本助産師会 通常総会報告

代議員 藤井 ひろみ

平成 29 年 6 月 2 日東京都の品川区総合区民会館（きゅりあん）にて、総会が開かれました。すでに機関誌「助産師」で報告されていた通り、長年にわたり日本助産師会に貢献してこられた岡本喜代子会長（総会当時）が、今総会を限りに会長を退かれました。総会での最後のご挨拶に、代議員席で涙する会員もおられました。「平成の日本助産師会革命」とは、翌日の第 73 回の本助産師学会での岡本先生のご講演タイトルですが、総会でのご挨拶でも日本助産師会の活動の積み重ねと現在の課題を挙げ、母子や社会にとって会の絶えなまない改革の重要性を語られました。

総会ではすべての議題が承認されましたが、代議員からは、開業助産師の保険種類に関する保険会社への申し入れを（一部、低額の保険料で加入できる仕組みが温存されていた事が判明した事を受け）強化して欲しい旨の意見や、事務局員の辞職に関する質問などがありました。事務局雇用を巡っては提訴され、今後は司法の場に判断を委ねることが報告されました。

岡本前会長からバトンを受け継がれたのは、山本詩子新会長です。理事・役員は「助産師」71 巻 1 号（平成 29 年 2 月号 73-77 ページ）に掲載された候補者全員が選任されましたので、あらためてご参照ください。

次回平成 30 年度総会は、石川県金沢市で開催されることも報告されました。総会前後に開かれる専門部会集会、日本助産師学会と、金沢観光もあわせて充実した機会になることと思います。兵庫県助産師会は代議員 4 名を送り出せるまでに成長しました。来年の総会も多くの仲間が兵庫県から参加できるように、またもう 1 年仕事に励みたいと思います。

## 第 73 回日本助産師学会で発表しました

楠 真理子

6 月 3 日（土）東京都品川区で開催された日本助産師学会に、「思いがけない妊娠 SOS の取り組み - 2 年間の活動を通して - 」の演題でポスター発表しました。

思いがけない妊娠 SOS 事業は、兵庫県と神戸市の委託を受けて兵庫県助産師会が運営しています。当日は、主に相談者の内訳や相談内容、地域の自治体等との連携について、また今後の課題などを報告しました。東京にんしん SOS の発表もありましたので、情報交換もでき、その情報をまた本会の事業のメンバーと共有することもできました。とても有意義で貴重な経験をさせていただきました。

（共同発表者：國廣晴美、近藤千恵、辻本有美、谷川裕子、藤井ひろみ）



### 公益社団法人日本助産師会 近畿地区研修会

いのちに寄り添う

～いま、助産師に求められること～

日程：平成 29 年 10 月 14 日（土）・15 日（日）

場所：和歌山県 JA ビル

### 平成 30 年度公益社団法人日本助産師会 通常総会

“愛”尊厳ある生

～いのちに寄り添う しなやかな助産とは～

日程：平成 30 年 5 月 24 日（木）～26 日（土）

場所：石川県文教会館

# トピックス1.

## 施設間相互交流による助産師出向支援事業の導入

姫路赤十字病院 太田 加代

姫路赤十字病院は総合周産期母子医療センターの指定を受け、中播磨・西播磨地域の周産期の拠点病院としての役割を担っています。NICU15床・GCU22床・MFICU6床を有し、母体・新生児搬送の依頼は24時間365日受け入れを行っています。年間の分娩件数は約500件で帝王切開率は40%を超えており、住民の多くは「ハイリスクは日赤へ」という認識を強く持たれています。このような現状ではありますが、当院を希望して就職する助産師も多く、一人あたりの助産師が介助できる分娩介助件数が少ない現状にあります。このことが、2015年から始まったアドバンス助産師の申請にあたり、大きな壁になっていることが明らかになりました。そこで、助産実践能力の向上を目指して、2016年9月から、施設間相互交流の助産師出向支援事業の導入に取り組みました。

出向支援事業を導入するに当たり、事業の目的や概要を助産師に伝え、まずは希望者を募りました。自施設では分娩介助がなかなかできない3年目以上の希望者から、メンバーを選出し、それぞれの助産師と目的を確認しました。出向先の施設は、日ごろから母体搬送などで連携をとっている中播磨医療圏の姫路聖マリア病院であったため、自宅からの通勤も可能であり、駐車場やユニフォームの貸与など参加する助産師が負担にならないよう準備を整えました。看護部長同士の交流が深く、事前打ち合わせから準備まで非常にスムーズに進めることが出来ました。2016年12月に契約をかわし、2017年1月から3月までの3か月間で当院からは5名の助産師が事業に参加しました。

当院から参加した助産師は3例から5例の分娩介助の経験ができたこと、姫路聖マリア病院で取り組んでおられるマタニティヨガや産後ケア事業についても知ることができ、自施設での取り組みの参考になったようです。また、自施設のケアしか知らない助産師が、姫路聖マリア病院での実践を通して自分自身の自信にもつながったと評価していました。姫路聖マリア病院からは「連携強化」「マネジメント研修」の目的で2名の助産師が3か月間当院に研修に来られました。日ごろから母体搬送で連携はとっていますが、実際に当院で搬送の受け入れを経験し、搬送にあたって自施設で行うべきことなど考えることができたことと評価されています。今回の施設間相互交流を通して、助産実践能力の向上と、地域における周産期ネットワークの強化につながりました。今後もこの事業を継続していきたいと思っております。



## トピックス2.

### 第31回 ICM 3年毎大会(カナダ・トロント)に参加して

吉川 恵理

6月18日から22日にカナダのトロントで開催されたICMの大会に参加してきました。学会では毎日様々なテーマの発表が行われており、非常に多くの参加者で賑わっていて、まるでお祭りのようでした。

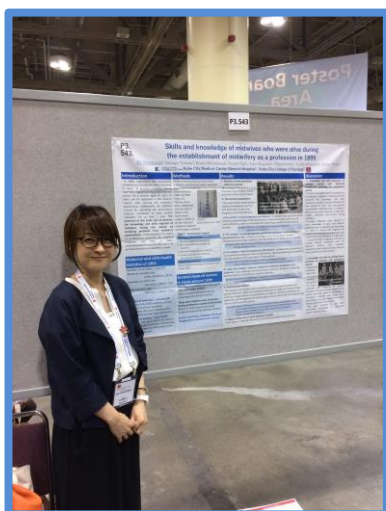
私がICMに参加したきっかけは、大学院でご指導いただいた高田昌代先生の「ICMで発表してみない？」という一言でした。今まで国際学会で発表どころか参加すらしたことがなく、英語学習は義務教育までの私に英語の読み書きや会話ができるわけもなく、国際学会での発表は途方もなく高い壁のように感じ、不安しかありませんでした。ただ、「こんな機会でもないと国際学会に参加することなんて無いかも知れないな」という思いがよぎったこと、加えて発表の抄録の締切りが数日後に迫っており、悩む間もなく勢いに任せて登録できたことが、結果としては良かったのだと思います。

私の発表はポスターセッションで、タイトルは“Skills and knowledge of midwives who were alive during the establishment of midwifery as a profession in 1899.”でした。研究の内容は、産婆規則が公布され専門職として確立した1899年(明治32年)頃、つまり専門職としての萌芽期の産婆に必要とされていた知識と技能を、当時行われていた産婆試験の内容から明らかにするというものです。発表当日は自分のポスターの前に立ち、来てくれた人に対応する時間が設けられていましたが、正直なところ、「日本の産婆の歴史のことなんて、海外の人は誰も興味ないだろうなあ」と思っていました。しかし、「あなたの研究はとても興味深いわ」と感想をくれた人、「Wow…!」と言いながら真剣に内容を読んでくれた人、「私の曾祖母もこの研究と同じぐらいの時代に助産師免許を取ったの！私もこんな研究がしてみたいと思っているの!」と言ってくれた人等、予想以上に多くの方がポスターの前で足を止めて下さり、本当に嬉しかったです。皆さんとは、筆談したりGoogle翻訳機能を駆使してなんとか意思疎通ができました。惜しむらくは、

質問に返事をするのが精一杯で、相手の研究のことやその国の助産師の歴史について質問することができなかったことです。今後の課題としたいと思います。

今回の発表、学会参加を通して、本当にたくさんの人からパワーをもらえたと思います。「研究を頑張ってよかった、学会に来て発表してよかった、これからも頑張ろう」と、とても前向きな気持ちになれました。海外の助産師の熱気を肌で感じ、多くの刺激を受けた5日間でした。

次回の学会は2020年にインドネシアのバリ島で開催されます。次はオーラルプレゼンテーションという目標を達成すべく英語の勉強は継続していきます。参加を考えている方がいらっしゃったら、是非一緒に参加しましょう。



## 新入・転入会員、賛助会員のご紹介

	保健指導部会	勤務助産師部会	賛助会員
新入会員	佐崎 加奈子 (但馬) 石谷 明子 (阪神南)	菅野 峰子 (阪神南) 八尾 凌加 (阪神南) 岡田 公江 (神戸) 川内 恵美子 (神戸) 中西 亜希子 (神戸) 宮野 聖子 (神戸)	兵庫県立総合衛生学院 2名 関西看護医療大学 4名
	森位 朋子 (阪神北) 平岡 純 (神戸) 山野 英里 (中播磨) 百合 はるみ (但馬)	藤原 穂奈美 (西播磨)	

平成29年7月31日現在 \*敬称略

### コラム 助産師学生賛助会員になって

関西看護医療大学大学院看護学研究科 母性看護・助産学分野  
奥山 亜美

私は、中学生のとき、産婦人科の病院で看護師として働いている母から、助産師は生命の誕生に携わる仕事だと聞き、助産師を目指そうと思いました。現在、大学院で助産を学んでいます。

賛助会員の入会は、教員から勧められて同級生2名とともに入会しました。兵庫県助産師会での活動を知る機会になり、私自身の視野を広めていくことができと思っています。

現在は、講義や演習で、理論や技術を学んでいます。臨床や海外などで活躍されている助産師さんの講義では、経験したからこそわかる貴重な情報を教えていただき、多くの深い学びにつながっています。土曜日も含め、ほぼ毎日大学で過ごしていますが、非常に充実しています。

これから2年間、助産師を目指す仲間とともに切磋琢磨しながら、母親が主体的に出産できるような支援ができる助産師になれるよう、日々努力していきたいと思っています。

### 研修会の案内について

教育委員会より今年度の研修案内がお手元に届いていますが、各委員会や部会でも研修会を企画しています。研修会の詳細につきましては、順次会のホームページでもお知らせいたします。皆様ご参加下さい。

## 兵庫県助産師会を支えてくださっている方々のご紹介

事務局(事務全般担当) 福原 文世さん

事務局に勤務して5年を迎えます。平日5日勤務で経理以外の事務全般を担当しております。2人の年子の男の子がおります。出産の際は長い入院生活でしたので、助産師さんには大変お世話になりました。そのご恩を返すべく助産師会勤務を希望しました。妊娠・出産だけではなく子育て中にも、助産師の方々がいろいろな分野で広く活躍されていることを知り、私も新しい発見が多く、勉強させていただいております。お母さんや赤ちゃんのために、そして、救いたい・助けたい、という助産師の皆様の気持ちには、尊敬の念を抱きます。理事・監事・委員の皆様、そしてそれぞれの事業・研修に携わる皆様が、本業だけでもお忙しい中、ご自分の時間を割き、助産師会の活動に懸命に取り組んでおられる姿を拝見し、少しでもお役に立ちたいと、日々精進しております。堀江さんともども精一杯頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



事務局(経理担当) 堀江 清美さん

事務局に勤務して2年になり、経理を担当しています。仕事から4年も離れていて不安もありましたが、皆様のお蔭で何とかやっています。とくに福原さんにはわからないことだらけの私の質問に嫌な顔一つせずに応えてくださり感謝しています。昨年会計ソフトが導入されましたので、少しでもレベルアップをとまがっている日々です。皆様にお会いする機会が少なく(何度かお会いして挨拶を交わしながら忘れていたことも多々あり申し訳ございません)、そんな中、以前一緒に勤務していた方とお会いできたり、名前をみたり、とても懐かしく楽しんでいます。私的なことでは、5才、3才、6か月の男の子ばかりの3人の孫がいます。デレデレです。私の好きな言葉は、相田みつをの「あんなにしてやったのに『のに』がつくとぐちが出る」、座右の銘は「一期一会」です。これからもご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



顧問弁護士 三木 秀夫 先生 (三木 秀夫法律事務所)

顧問税理士 岩木 久美 先生 (ユアサ税務会計事務所)



兵庫県助産師会は、会の運営が適切に行えるよう、弁護士・税理士から法律・税務に関するアドバイスを受け、会の運営をサポートしていただいています。

## 兵庫県助産師会 HP アクセスランキング

兵庫県助産師会ホームページのアクセス状況を調査したところ、一日平均 231 件のアクセスがあり、一般の方向けページが多く見られていることがわかりました。広報委員会では、会員向け、一般の方向けに、よりわかりやすいページを作っていきたいと思います。

順位	ページ	総アクセス数
1位	助産師になりたい方へ	5821
2位	トップページ	4917
3位	助産所マップ	1913
4位	母乳育児支援（おっぱいマッサージ）	1521
5位	お母さんと赤ちゃんのふれあい広場	1159
6位	研修に関して	1156

平成 29 年 4 月 1 日～7 月 31 日



事務所の窓にロゴが入りました。

JR 元町駅・阪急花隈駅から事務所までの道をのぼると、事務所の海側の窓に助産師会のロゴが入っているのが見えます。

事務所の場所がわかりにくいという声もありましたが、以前よりスムーズにたどり着けるようになりました。事務所にお越しの際には、目印にご利用下さい。

### 新事務所購入負担金の振込先

郵便振込 □座番号：00990-9-275875  
 加入者名 一般社団法人兵庫県助産師会  
 金額 ー□ 10,000 円（ー□以上）

～7月末日までの振込状況～  
 1,771,000円（151名）

新事務所購入負担金の振り込みがお済みでない方は、お急ぎ振り込みをお願いいたします。

# 一般社団法人 兵庫県助産師会 組織図 (平成29年6月～平成30年5月31日)

## (理事・監事)

会長(代表理事)	岸本喜代子
副会長	鈴木江三子
副会長 兵庫県地区助産師会等連絡会担当	毛利多恵子
会計担当	嶋澤 恭子
庶務担当	藤井ひろみ
	小河原みゆき
	小坂 素子
	坂田富貴子
	加須屋淳江
監 事	郷原 寛子
	高田 昌代

## (幹事)

会計幹事	井上 千秋
庶務幹事	岡村 由香

## (三部会)

助産所部会長	加須屋淳江
保健指導部会長	坂田富貴子
勤務助産師部会長	高田 昌代

## (特別委員会)

表彰委員会 担当理事 ◎毛利多恵子	川口 芳子(助)
	頓田 眞子(保)
	総毛 薫(勤)
組織強化委員会	◎坂田富貴子(理事)
	理事会
産後ケア事業推進委員会 担当理事 坂田富貴子	◎稲生佐枝子(助)
	井上 千秋(保)
	駒井 江里(勤)
	総毛 薫(勤)
選挙管理委員会 担当 理事会 (副会長2名が窓口)	◎山名 華代(勤)
	徳重 朋子(助)
	目木 純子(保)
	廣川 卷子(保)
	金川 景子(勤)
定款規程検討委員会	◎小坂 素子(理事)
	理事会
医療事故調査制度支援委員会 担当理事 毛利多恵子	◎石田 弘美(勤)
	松田 幸代(助)
	廣川 卷子(保)
	編塚さつき(保)
	(◎印…委員長)

## (兵庫県子育て・女性健康支援センター)

兵庫県子育て・女性健康支援センター運営委員会 担当理事 藤井ひろみ	◎國廣 晴美(保)
	近藤 千恵(助)
	小山 千里(保)
	高森麻衣子(保)
	辻本 有美(保)
	水谷 瑞穂(勤)
	竹中 靖子(勤)

## (常任委員会)

教育委員会 担当理事 小河原みゆき	◎谷口 真紀(勤)
	松村 恵子(助)
	三谷 千恵(助)
	島崎 明代(助)
	楠 真理子(保)
	鳴坂 広美(保)
	目木 純子(保)
	山名 華代(勤)
	岡村 由香(勤)
	石田 弘美(勤)
	吉川 恵理(勤)
郷原 寛子(勤)	
安全対策委員会 担当理事 加須屋淳江	◎森田 輝(保)
	三谷 千恵(助)
	石村 朱美(助)
	編塚さつき(保)
	井澤 典子(勤)
	子安 恵子(勤)
広報委員会 担当理事 小坂素子	◎谷川 裕子(保)
	山下 圭子(保)
	佐治賀久美(保)
	奥 陽子(勤)
	金川 景子(勤)
福祉厚生委員会 担当理事 小坂 素子	◎秋山 敦子(助)
	大内 久子(助)
	庄村佳世子(保)
災害対策委員会 担当理事 坂田富貴子	◎谷川 裕子(保)
	上田 弓子(助)
	塩田まゆみ(助)
	庄村佳世子(保)
	岡垣 裕美(保)
	本田利江子(勤)

(◎印…委員長)

編集後記：暑い日が続き、私は少々夏バテ気味ですが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。今年度から、このとり通信の発行が年に1回のみとなりました。発行回数は少なくなりますが、その分、充実した内容をお届けできるよう、広報委員一丸となって、取り組んでいきます。このとり通信は、会員のみなさまと共に創る広報誌です。みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。(広報委員：金川)

今回のこのとり通信は、担当理事：小坂 広報委員：谷川、奥、金川、佐治、山下 でお届けしました。



一般社団法人兵庫県助産師会  
Hyogo Midwives Association